



金透坂



令和6年 7月 2日(火) 学校だよりNo.15

発行責任者 校長 嶋 忠夫

全校例会においでいただき、ありがとうございました!

6月28日(金)に、今学期最後の全校例会を行いました。保護者の皆様にはご多用の中、ご来校いただき、そして子どもたちの学習の様子をご覧いただきまして、ありがとうございました。お子様の学校での様子はいかがだったでしょうか。

1年生教室では、授業の始まりのあいさつが、教室が震えるぐらいの元気いっぱいのあいさつでスタートしました。入学してから約3か月経ちましたが、すっかり学校にも慣れ、たのもしさも感じられるほどでした。6年生教室では、聖徳太子の死後の国づくりについて資料をもとに、当時の生活をイメージしながら真剣に話し合う姿が印象的でした。どの学年も、担任の先生とともに、一生懸命学んでいました。1学期の大きな成長です。どうぞ、ご家庭におきましても子どもたちの成長の姿を認め、励ましていただければと思います。

学年懇談会では、1学期の子どもたちの様子と夏休みの過ごし方等について担任からお話いたしました。まもなく夏休みになります。子どもたちが安全で充実した夏休みになるよう事前の指導をしまいいりますが、ご家庭におきましても、どんな夏休みにするのか、話し合ってみてはいかがでしょうか。



ちょっといい話・。・。

5年生の授業参観では、1組、2組ともに「命の尊さ」について考える授業を行いました。「神経芽細胞腫」という病気と闘い、わずか11歳で亡くなってしまった少女が書いた詩をきっかけに、1mmにも満たない小さな、小さな卵子の大きさを実感し、卵子と精子が数億分の1の奇跡の出会いをして、自分自身が生まれたこと、お母さんのお腹の中で成長していく過程や羊水の役割、赤ちゃん人形を実際に抱いてみる体験、参観していただいたお家の方からの言葉などから、自分自身の命の尊さと多くの方々の関わりなどを学びました。命はかけがえのないもの、なくなったら取り替えることができる電池ではありません。自分の命、友達の命、家族の命、生きとし生けるものの命の尊さを学んだ45分間でした。

